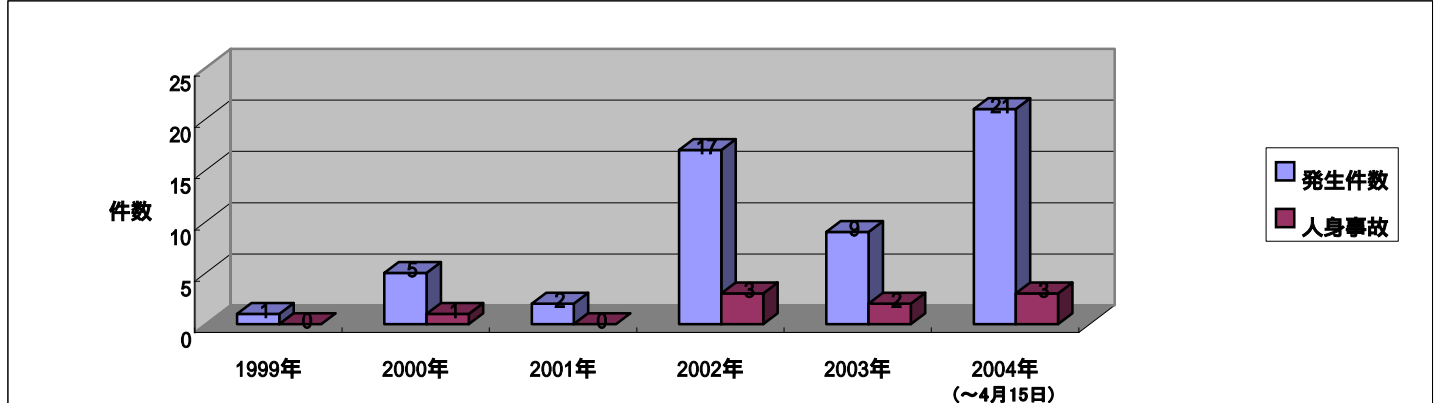


連日新聞やテレビ・ラジオのニュースで、三菱ふそうのトラック車輪脱落事故について報道されています。原因はホイールハブの強度不足で、3月24日リコールの届出がありました。このニュースでも2年前の丁度この時期に、(社)日本自動車工業会から配布されたマニュアルに基づき、車輪脱落防止方法をご紹介しました。たしか2年前に三菱ふそうから発表された脱落原因は、ホイールナットの締付不足によりホイールハブが摩耗し亀裂が入り、車輪が脱落するというものでした。まさかホイールハブに設計上の強度不足があったとは、私自身も驚いています。ここのところ三菱ふそうの車輪脱落事故のせいもあり、車輪が脱落したという事故を多く耳にしますが、すべてがホイールハブの強度不足が原因ということではありません。多くの車輪脱落事故は、ホイールボルトの折損によるものです。今回のお話は、4月16日に国土交通省より緊急点検の指示が出されたこともあり、再度車輪脱落防止のお話をしたいと思います。

車輪脱落防止の話(2)

大型車のホイールボルトに係る車輪脱落事故発生状況

(4月16日国土交通省発表)



グラフを見れば一目瞭然、ホイールボルトに係る車輪脱落事故は増加しています。今年の件数は4月15日時点の件数ですので、1年間で考えればまだまだ増える可能性があります。今年起きた21件の事故の内3件が人身事故で、内1件が死亡事故となっています。

緊急点検の指示

(4月16日国土交通省発表)

国土交通省は、大型車の使用者、自動車メーカー等に対し、ホイールボルトの緊急点検を指示しました。

1) **大型車(車両総重量8トン以上)の使用者**は、出来る限り速やか(遅くとも5月15日まで)に、次の措置を講じること。

・大型車について、点検ハンマーを使用する等により、ホイールボルト・ナットに折損、緩み等がないかを点検すること。

・点検結果、異常がある場合には、ホイールボルト・ナットの交換、規定トルクによる締付等、所要の整備を行うこと。

2) 自動車メーカーは、緊急点検及びその結果必要となる整備の実施方法に関する情報について、

大型車の使用者および整備事業者への周知徹底を図ること。以上、国土交通省から大型車使用者・自動車メーカーに指示が出されました。又「ホイールボルト折損による車輪脱落事故に係る調査検討会」を設置することも、通達されました。

緊急点検内容

((社)日本自動車工業会HPより)

1. 目視点検

1) ホイールボルト及びナットが**すべて付いている**かを点検する。

2) ディスクホイールやホイールボルト又はナットから**錆汁が出た痕跡**がないかを点検する。

3) ホイールナットからのホイールボルトの**出っ張り量**を点検する。

a. 車輪の中で不揃いはないか。

b. 車輪によって出っ張り量が異なっていないか。

4) ホイールボルト及びナットの**誤使用**がないかを点検する。

2. 点検ハンマーや小型ハンマーを使用しての点検

ホイールナットの下側に指をそえて点検ハンマーや小型ハンマーでホイールナットの上側面を叩いた時、**指に伝わる振動が他のナットと違ったり、濁った音がしないか**、異常の有無を点検する。異常があった場合は、ナットの緩みやボルトが折損しているおそれがあります。



車輪の脱落は、重大事故に繋がります。日常点検・定期点検をしっかりと行ってください。又点検時、異常を発見した場合国際サービスに修理依頼してください。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。